第四講　再読文字

再読文字…最初は返り点を無視して副詞として読み、二度目は返り点に従って助動詞（動詞）として読む。

（例）未　来

①　**未＝未**（いま）**ダ～ず／（まだ～ない）**

（例）**未**レ還（かヘラ）。〔　　　　〕（まだ戻ってこない。）

前代**未**聞〔前代に　　　　〕〈＝今までに一度も聞いたことがないこと。〉

②　**将・（且）＝将**（まさ）**・（且）**（まさ）**ニ～ントす／（～しようとする・～しそうだ）**

（例）**将**レ食（セント）。〔　　　　〕（今にも食べようとする。）

＊「将」が再読文字ではないとき＝「はタ」（あるいは）や「もっテ」などと読む。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

且レ飲レ之。（　　　　　）（　　　　　）

問一　再読文字「且」と同じ読みである再読文字として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　将　　イ　当　　ウ　応　　エ　宜　　オ　須　　カ　未

問二　「病ミテ且死、…」の傍線部の、A　読み方と　B　解釈として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

A
ア　まさにしせんとし　　イ　まさにしすべくして
ウ　よろしくしすべくして　　エ　すべからくしすべくして
オ　なんぞしせんとし

B
ア　少しの間、死んだようになって　　イ　死んだ方がましだと思って
ウ　今や死にそうになって　　エ　必ず殺されると思って
オ　それでも生きたいと望んで

問三　「甘茂(かんぼう)亡(に)ゲレ秦ヲ、且之斉ニ、…」の傍線部をひらがなのみの書き下し文にせよ。

注　甘茂…秦の宰相。
斉(せい)…地名。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③

当＝当（まさ）**ニ～ベシ／（当然～すべきだ・しよう）**

（例）

当レ帰（とつガシム）レ汝。〔　　〕（当然お前を嫁がせよう。）

不レ**当**レ発二悪願一。〔　　〕（当然悪い望みを持つべきではない。）

④

応＝応（まさ）**ニ～ベシ／（きっと～だろう・しよう・に違いない）**

（例）

応レ知レ之。〔　　〕（きっとこれを知っているに違いない。）

応レ**未**レ眠。〔　　〕（きっとまだ眠らずにいるだろう。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「当如此也ト。」の書き下し文として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　当(まさ)に此(か)くの如(ごと)くなるべきなりと。

イ　当(あ)たるも如(も)しくは此(こ)れにあらんやと。

ウ　当(まさ)に此(こ)れに如(し)くものあらんやと。

エ　如(ゆ)くに当(あ)たりて此(か)くなるべきなりと。

問五　「当二為レ子沽レ酒。」を書き下し文にせよ。

注　沽…「沽(か)ふ」（＝買う）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤

宜＝宜（よろ）シク〜ベシ／（〜するのがよい）

（例）

宜レ在二高位一。（ニ）〔　　　　〕（高い位にいるのがよい。）

宜レ従二汝（なんぢノ）所レ適（ゆク）一矣。（フ）（ニ）〔宜しく汝の適く所に従ふべし。〕

（おまえが行きたいところへ行けばよい。）

＊「宜」が再読文字ではないとき＝**「むベナリ」**の読みが特に重要で**「もっともだ」**の意味。

⑥

須＝須（すべか）ラク〜ベシ／（必ず〜する必要がある・しなければならない）

（例）**須**レ学。〔　　　　〕（　　　　）

問六　次の文を、返り点に従って書き下し文にせよ。

妾（ハ）宜（シク）下以（テ）レ身（ヲ）薦（すすメ）二其（ノ）棺槨（くわんかくニ）一、守（リ）中養（フ）其（ノ）幼孤（ようこヲ）上。

注　棺槨…ここでは、棺桶に納められた夫のことを指す。

幼孤…幼い遺児。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「宜二速ヤカニ改レ之。」を書き下し文にせよ（なお、送り仮名を省いている部分がある）。

問八　「須」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　～であろう
イ　～するだけだ
ウ　～することが必要だ

⑦　猶・（由）＝猶（な）・（由（な））ホ～〔ガ・ノ〕ごとシ／（ちょうど～のようだ・と同じだ）

- 連体形＋ガ（…過ぎたるはなほ及ばざる**が**ごとし）
- 体言ノ（…春の夜の夢**の**ごとし）

（例）　今之楽、**猶**二古之楽一。〔今の楽、猶ほ古の楽ごとし。〕
（今の音楽は、ちょうど昔の音楽のようだ。）

＊「猶」が再読文字ではないとき＝「なホ」と読み、「やはり・まだ・いっそう」と訳したり、「抑揚形」の文で使われたりする。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑧　**盍＝盍（なん）ゾ〜ざル**／（どうして〜しないのか・〜すればよいではないか）

（例）**盍**二以テレ疾ヲ辞セ一。〔盍ぞ疾を以て辞せざる。〕（どうして病気を理由にして辞退しないのか。）

問九「盍試一思之。」のＡ　訓読とＢ　意味について、正しいものを次の中から一つ選べ。

Ａ　**訓読**

ア　けだし試みに之を一に思ふ

イ　なんぞ試みに一たび之を思はざる

ウ　いはんや一たび之を思ふことを試みんや

エ　まさに一に之を思ふことを試みんとす

オ　あに一を試みて之を思はんや

Ｂ　**意味**

ア　ましてや一度はこのことを考えないことがあろうか

イ　いったい一つのことを試してこのことを考えようか

ウ　これからひたすらこのことを考えるのを試みてみよう

エ　どうしてこのことを一度試みに考えてみないのか

オ　おそらくもっぱらこのことを考えようと試みるであろう

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講

①「将」は再読文字の一つである。次の中から再読文字でないものを一つ選べ。

ア　応　　イ　遂　　ウ　宜　　エ　須

②「唯(た)だ春江の看(み)れども未(いま)だ厭(あ)かざる有り」と読むには、返り点はどのように付けるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　唯　有二　春　江　看㆑　未レ　厭

イ　唯　有二　春　江　看　未㆑　厭

ウ　唯　有三　春　江二　看　未㆑　厭

エ　唯　有三　春　江二　看　未一　厭

オ　唯　有三　春　江　看二　未　厭一

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「当㆓相取㆒也。」は「どうしても（あなたを）つかまえなければならない。」という意味である。どのように読むのが正しいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　あひ取るにあたれるなり。
イ　まさにあひ取るべきなり。
ウ　よろしくあひ取るべきなり。
エ　まさにあひ取らんとするなり。
オ　よろしくあひ取らんとするなり。

④　「猶㆑免㆓於剪伐㆒」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　きっと切り取られるのを避けるにちがいない
イ　切り取られることから逃れようとするだろう
ウ　まだ切り取られずにすんだわけではないのだ
エ　切り取られずにすんだのと同じようなことだ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第四講】

①〔未だ還らず。〕
〔前代に**未だ聞かず**。〕
②〔将に食せんとす。〕
〔且に之を飲まんとす。〕（今にもこれを飲もうとする。）
③〔当に汝を帰がしむべし。〕
〔当に悪願を発すべからず。〕
④〔応に之を知るべし。〕
〔応に未だ眠らざるべし。〕
⑤〔宜しく高位に在るべし。〕
⑥〔須らく学ぶべし。〕（学ばなければならない。）
⑦〔今の楽、猶ほ古の楽**の**ごとし。〕

〔模範解答〕

問一　ア
問二　A　ア　　B　ウ
問三　まさにせいにゆかんとし、
問四　ア
問五　当に子の為に酒を沽ふべし。
問六　妾は宜しく身を以て其の棺槨に薦め、其の幼孤を守り養ふべし。
問七　宜しく速やかに之を改むべし。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　ウ

問九　A イ　B エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講　解答解説

〔解説〕

① アは「まさニ～ベシ」、ウは「よろシク～ベシ」、エは「すべかラク～ベシ」と読む再読文字。よって、正解はイ。

② 再読文字の「未」に気をつけること。「未だ厭かざる」と読むことから、「未」の一字下の「厭」から再度戻っているので「未」の下に「レ点」をつける。さらにそこから「有」に戻るには、二字以上返るため、「未」は「レ点」となり、「有」には「二点」をつける。よって、イが正解。

③ 「どうしても～（し）なければならない」（＝当然～すべきだ）という意味から、「当」は再読文字として「まさに～べし」と読むことがわかる。よって、正解はイ。

④ 再読文字「猶」は、「ちょうど～と同じだ」の意味。よって、正解はエ。

〔解答〕

①　イ　②　イ　③　イ　④　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。